佳作

高学年になって

鹿児島県　南九州市立大丸小学校五年　松薗　奈々

今年からいよいよ高学年だ。私は、初めて体育・放送委員になった。この委員会は、三年生一人、四年生一人、そして私の合計三人だ。私の学校は全校児童十三人の小さな学校だ。委員会は三つあるが、六年生は二人しかいないので、体育・放送委員会では、五年生の私が最上級生になる。四月の委員会活動がスタートしたとき、「ここでは私が最上級生だから、委員長としてみんなを引っ張っていけるようにがんばろう」と強く思った。

委員会の主な活動は、放送と体育の二つの仕事だ。校内放送、体育館や体育倉庫の整理整とんなどが中心だ。

中でも、私が委員長としていつも心がけていることは、決められた時刻にきちんと放送することだ。それは、みんなが放送を聞いて、授業やそうじに遅れないように行動を切りかえるからだ。みんながきちんと聞き取れるように、ゆっくり、はっきり話すことに気をつけている。その際、アナウンサーのように、なまりが出ないように気をつけている。わたしたちの学校には「大丸なまり」というのがある。語尾をのばしたり、アクセントやイントネーションが他とちがっていたりする話し方のようだが、自分たちでは気づかない。なぜか放送するときだけに出るらしい。だから、放送するときはそのなまりが出ないように、標準語を強く意識して話すようにしている。また、放送当番が遅れて、放送が間に合わないときは、急いで放送室に行き、代わりに放送することがある。これも委員長の仕事だ。

その他、体育関連の仕事も私たちの担当だ。私は七月の水泳大会では、開・閉会式の司会をした。母をふくめ大勢の人の前でとてもきんちょうしたが、日ごろの校内放送の「ゆっくり、はっきり」を思い出した。すると、落ち着いて進行することができた。ふだんの活動が役に立って、よかったと思った。他のメンバーも準備運動など各自の役割を果たすことができ、委員会としても大成功だった。

さらに、一学期末にあった運動会のスローガンを決める話し合いの場でも司会を務めた。意見がたくさん出て、しぼりこむのが大変だったが、何とか集約して一つのスローガンにまとめることができた。ここ数年、スローガンがなかなか決められずに長引くことが多かったが、今年は時間内に決まったので、先生方がおどろいていた。先生方から、

「いい司会だったね。うまくまとめたね。」

と言われて、とてもうれしかった。決まったスローガン「仲間と共に全力突破。気炎万丈最後まで」のもとに、放送・体育委員会が一丸となって、九月の運動会を成功させたい。

高学年になって数ヶ月。下学年のお手本になったり、いくつかの学校行事を任されたりして忙しくなったが、これからも高学年としての自覚と自信をもって、自分のやるべきことを果たしていきたいと思う。